

市内3病院で病院勤務医師支援事業を開催しました！

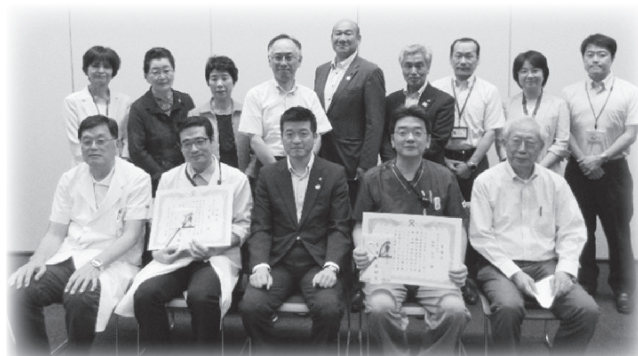
8月8日(木)に、市内の病院での勤務が10年を経過した医師に対して感謝を伝える『病院勤務医師支援事業』を開催しました。当日は市長、益田の医療を守る市民の会役員、市議会議員、益田保健所長とともに、松ヶ丘病院、益田地域医療センター医師会病院および益田赤十字病院を訪問しました。



益田の医療を支える医師に感謝を伝え、これからも益田でご活躍いただくことを願うとともに、医師と市民が良い関係を築くことのできるまちとなるよう、今後取組んでいきます。



『病院勤務医師支援事業』の対象者である、松ヶ丘病院の笠原恭輔医師、益田地域医療センター医師会病院の原田孝之医師、益田赤十字病院の下村龍一医師と服部晋司医師に、市長から感謝状と特産品の目録が贈呈されました。



今年度、島根大学医学部に入学した学生からメッセージが届きました！



島根大学医学部1年
田原 遥 さん

私が医師を目指したきっかけは、親戚の病気による手術と入院の時に医師という職業に漠然とした憧れを感じ、その後、テレビで外科医の先生の手術場面を見たことや、実際に病院実習に参加したことです。そして、医師になるなら生まれ育った益田に貢献できるような医師になりたいと思うようになりました。大学に入学するまでは、勉強についていけないか不安でしたが、入学してからは、勉強は大変ですが部活も新しいことに挑戦し、多くの新たな出会いがあり、とても充実した日々を送っています。また、同期や先輩、教授などの人とのつながりはとても大切なものであるということに気づくことができました。

まだ始まったばかりで医療について直接学ぶ機会は少ないですが、これからどんどん増えていくので、しっかり自分のものにして益田に持ち帰ることができるよう頑張っていきたいと思います。